



第1号議案

令和7年度 事業報告

1. 社会福祉法人 童心会（本部）

1) 童心会の経営理念

童心会は今、社会資本の一つとして「地域の子ども家庭支援」の大切な役割を担っている。そこで、私たちは郷土に受け継がれてきた「気候、風土、文化、歴史、宗教」を見つめながら、この21世紀の社会の変化を先見し“生活や福祉”をデザインし、時代の変化に対応しうる理念「尽・還・実・育」を持つ法人として「利用者の最善の利益の実現」に向けて、公的役割を遂行しなければならない。

2) 童心会の事業目的(全保育所 共通)

児童福祉法に基づき何らかの理由で、保育を必要とする乳児・幼児を対象に保育することを目的とした児童福祉施設である。

子どもたちの心は“人間性豊かなより多くの人たち”との毎日の生活の中で「ふれあいと見守り、抱きしめ言葉」を通して「思いやり と 生きる力」が育てられるものであり、保育所は子どもたちが最も良く生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を培うために、時代の変化に対応した保育を創造し、実践する必要がある。よって、子どもたち一人ひとりが、人格を持った人間としてお互いが認められ“生まれてから死を迎えられるまでの一生”を人間教育の場として捉え「人間として如何に生きるべきか」を学ぶための原体験を創ることを目的としている。

保育園(人間教育)に持たされた機能と役割

- 1) 五感と意識を刺激する0歳児からの人間教育（意識：認識し、思考する心の働き）
- 2) 子どもの愛された育ち・だきしめ言葉の保障（パーソナル・ケア）
- 3) 保護者や地域の子育て・子ども家庭支援（ファミリーケア・ワーク）
- 4) 心と体の健康創り / ヒューマン・ヘルス・ケア（Well-being）
（子ども・子育て仲間・保育者仲間・ケアを必要とする人たち）
- 5) 保育所から始める地域コミュニティ創り（コミュニティケアワーク・村づくり）
- 6) 保育ソーシャル・ワーク
（保健・福祉・医療・教育・子育て支援・発達支援センター等との協働）
- 7) 保・幼・こ・小との連携（重要課題・未来への架け橋）
- 8) すべての多様性を認めあう包括的支援（all diversity and inclusive support）
- 9) 新しい子育て文化の創造（育児体験学習、未来の親づくり）
- 10) 人間学と人間科学に基づく人間教育

3) 童心会の活動内容

① 理事長講演及び執筆活動

昨年度も開催したように、今年度は東京で開催された。

第68 回全国保育研究大会(フリー発表)にて講演実施。2024 年 11 月 21 日から東京都にて開催され「フリー発表分科会」にて発表され、今年度は業務執行理事兼柏中央保育園園長の中山梨花の他に保育アドバイザーの高間先生と谷先生も同席。引き続き、内部研修も進められ「法人だより」、「内部研修」にむけた執筆活動を強化した。

② 法人体制

i 理事長職の集中体制

令和 7 年度の理事長研修も各保育園、園長会、主任会、その他部会のリーダー会を中心に研修会を実施した。

研修名	年間講義数
各保育園(全職員対象及び気になる子会議)	5 回
保育アドバイザー会	2 回
園長会	12 回
主任会	2 回
各部会リーダー会 (献立会、保育所保健部会、リーダー研修など)	10 回
合計	31 回開催

ii 法人本部主体の推進事業

- ・『施設修繕』として、関係社とともに保守体制及びスピーディーな修繕体制サポートを継続的に再構築中である。その中で、牛久みらい保育園のウッドデッキ修繕準備(基準決定)、柏さかさい保育園すみれ組の床&壁の修繕工事、柏 ECEC 保育園の防犯カメラ交換など推進した。

- ・『新中長期計画』の一環として、

① 保育事業の拡大

園児・保護者・職員から「選ばれる・選んでくれる保育園」に、持続的可能な保育事業の拡大を継続する。つまり、インクルーシブな保育を実現するための児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問事業について積極的に推進した。

② 組織強化の改編

保育の専門性及び組織の業務効率と成果を向上するため保育

アドバイザーを中心に保育の役割や保育園ごとの保育の意味をアドバイスしながら組織を強化した。

③ 人材育成

新採用職員から全職員を対象に職位別研修を強化し、保育アドバイザーを中心に日々の保育を再理解し、保育方針のズレを年々解消させ人材育成を強化した。

④ 採用活動

人材確保においては、大学への訪問や就職活動において徐々に活動しているが直接的な成果はまだない。よって、令和7年度の主な採用活動は、ホームページからの採用広告、柏市合同就職説明会への参加、ZOOM面談、人材紹介を主とし、令和8年4月1日入職者の職員数12名(保育士10名、保育補助2名)を採用した。

引き続き、保育士における配置数は、法人全体で公定価格上の必要配置数の約1.5倍(現平均1.4倍)を目指す。

2. 社会福祉法人 童心会（保育アドバイザー会）

1) 活動目標

- ・ 認可保育園5園、児童発達支援事業1園を運営する法人となり、保育目標、保育理念に沿った安定した童心会保育を展開させ、利用者の最善の利益を保障する事
- ・ 子どもを真ん中にした養育環境・保育環境、社会情勢に適応した組織の確立
- ・ well-be を実現

2) 内容

- ・ アドバイザー会議を定期的に月1回開催し、必要に応じて開催する。
- ・ 本部窓口を設置、職員の意見要望へ回答・働きやすい職場環境を整える。
- ・ 職員の育成に努めキャリア形成、保育の質向上に務める。

3) 活動実績

月	アドバイザー会議議題	法人窓口へのご意見に対する回答
4 月	・ 各研修リーダー、部会 MT 開催日程について ・ 専門リーダーを係と位置づけ7時間以上勤務する職員は全員担当する事 ・ 職員集団健康診断欠席の場合の約束 ・ KM の事業内容について共通理解	
5 月	・ R7 年度途中入職者と派遣から直雇用者への社会人スキル外部研修を 8/20 に行う ・ 時代に合わせた柔軟な職場づくり、辞めない職場づくり ・ 法人としての研修制度の充実化を提案 ・ 特別休暇制度の目的理解、取得方法統一 ・ 園長、主任の視察研修について ・ 保護者支援（タスマィー、洋服レンタル）導入検討 保護者アンケート集計 ・ BCP 計画作成 ・ 7/1 より KM の送迎開始	
6 月	・ 運動会・発表会は計画的にすすめる。 ・ UM ヘルプ体制をつくる ・ 実習生たちにアンケートを実施 ・ KS 幼児組トイレ改修工事	
	・ 実習生の受け入れが一つの園に偏らないようにへりょうんさん	

7 月	の方で一括でまとめる ・療育施設と併用している場合、その施設と連携を取っていく ・不適切かと思われる保育を見た場合の通報義務 ・園見学30分以上の場合は一時保育としてカウントする ・柏市宿舎刈り上げ対象が新卒者飲みが対象となり最大5年間採用時、変更前の場合は今年度は法人から支給 ・童心会マニュアル「人間教育の理念一部変更」プリントして配布 ・乳児組運動会かけっこの距離について確認、統一 ・11/20,21 理事長先生研究発表	・不適切かと思われる保育について ・ハラスメントにつながると思われる指導について
8 月	・2園保護者対応 アドバイザーで仲介する ・保護者面談時期について	
9 月	・梨の提供はりんご同様幼児組から提供とする ・おんぶ紐の正しい使い方 保育士推奨おんぶ紐購入 ・協議会わくわくフェスタ開催のお知らせ 職員の参加協力 ・R4 年度処遇改善余剰金が12月の賞与に反映される ・かけっこの距離 もも組 10~13M たんぽぽ組 30M ひまわり組 35M さくら組 40M ・保護者面談 1回目春実施（信頼関係づくり） 2回目冬 （希望者） ・園長による訪問学習 事前に何を学びたいかまとめて参加する ・定年退職について	
10 月	・セルフチェックシートの実施時期確認、Check 項目の見直し 結果の活用方法について ・年齢別研修2回目の参加者変更になった場合のフローについて ・サーブ&リターンとミラーニューロン研修について ・BCP 計画の追加項目「備品 check リスト作成 ・実習生へのアンケート 必須か否か 回答時間の確保、提出を希望 ・職員が妊娠された場合 「母子健康管理指導事項連絡カード」の活用 ・来年度の継続アンケート 11月実施予定 ・最低賃金 触れる人はアップ	

11 月	・ Xmas 生活発表会プログラム用紙について ・ AI の活用で個人名は使用しない ・ 職場内ラインは緊急を要するもののみに返答は求めない ・ 育休は保育園入園が出来なかった場合のみ 1 年延長可能 ・ 午睡時の寝かしつけの理由の理解 ・ 隣接していない市街への遠足は 200 円バス代を徴収	
12 月	・ Xmas 生活発表会 新体制となった EC、UM は主任さん他園を見学する ・ 法人統一のケガ対応マニュアルを作成する ・ 衛生用品購入について ・ 年度末の家庭保育のご協力依頼手紙 1 月に掲示 3 月に周知とアンケート 昼食代 270 円分の何かを用意 ・ R8 年度年間行事計画 1 月に主任が決める ・ 改善が必要な職員への指導 ・ 流経サッカー部の応援について ・ 道しるべの見直し ・ 処遇改善 2 の計画と振り返りの管理方法はどうなっているか ・ KM 新所長就任	
1 月	・ 職員の配置人数を梨花先生より統一 ・ 次年度の行事について 今までの活動報告書を有効利用し活かしていく。 春、4、5 歳児担任対象に KS 酒巻園長、KC あい先生より 4,5 歳児の運動会、発表会の指導方法、取り組みフロー、担任の気持ちなどの講習会をする。 過去のデータを参照する。負担軽減 ・ 制作物も各年齢にあったもの、担任が手を加え自己満足にならないように。 ・ カ公先生によるインスタ研修 ・ 2/13 新採職員顔合わせ ・ セルフチェックシート加点評価 5 つは法人共通のもの、5 つは各園で考える ・ ケガ対応マニュアル、問題なければ 4 月から適応 ・ 流経大卒業生 R8 年度採用 2 名 ・ 子育て支援の申込みが Google フォームになる ・ 3/24 又は 26 法人理事会開催予定 ・ R8 年度給食費 5600 円→6000 円になる ・ 保護者食事代 250 円→300 円	

	・ファミリー会費の値上げはなし ・職員給料ベース UP として食事代 4000 円支給。20 日以上食事した場合一律 2000 円。 差し引いたものが支給されることを検討中	
2 月	・理事長研修は梨花園長が同行し年 3 回実施 ・R8 年土曜法人窓口の QR 新しくする。 ・退職者の有休消化について ・年度末の評価について ・各園の事故報告を保健部でまとめる 事故報告は各園の看護師が他園看護師と共有する ・R8 年度ラコルタとセブンパークアリオで子育て支援出前保育実施予定 各園の担当者が協力して参加 担当谷 ・KC 園長交代のお知らせ作成 ・採用について 「採用依頼書」を各園園長からへりょんさんに提出 ・実習巡回の先生とへりょんさんは顔を合わせることとする ・3/24 理事会 KS にて 各園、わくわく活動 事業計画作成する ・KSUM 修繕工事	
3 月	・さくら組卒対委員について ・えほんタイムの絵本はひらがなとする ・園だよりについて ・梨花園長は梨花先生で統一。書面は梨花統括園長先生 ・谷口先生の研修は全員が受講した。 今後はコーチング研修などを検討していく ・卒園式、入園式について精査 ・R7 年度、園長主任の視察訪問を検討 ・KM 職員の資格取得について ・BD 休暇について ・新手当について well being 手当 子育て支援リーダー手当 ・理事会 6/18 又は 19 日予定 ・スクール活動 冬祭りで紹介 ・残業は事前申請とする	

3) 活動を振り返って

- ・アドバイザーという立場で客観的に園活動を見ることにより、慣習的なことに気づき各園での検討議案として提案することが出来た。
- 「当たり前」の意識の改善と法人保育の目的、ねらいの継承のズレを予防

することにつながった。

- アドバイザー会議で議題を上げ話し合うことで、見通しを持って計画、実施出来るようになり、園長会での各園の状況についてより深く考える事が出来円滑な園長会となっている。
- アドバイザーというフラットな視点で必要な場面で職員との面談を行うことも出来、職員のメンタル面のサポート、園運営に有効な提案を行うことも出来た。
- 外部講師による研修も「社会人」「組織人」としての在り方考え方を知ることが出来、職員の意識改革、チーム力の向上、それぞれの役割意識等これからの人間力の工場に期待できる。引き続きフォローアップも行いながら定着させていく。
- 昨年に続き、法人本部への窓口を通して、個人的な意見が出しやすくなり一職員の思いを知り対策することが出来、組織のルールが明確且つ可視化された。また、法人保育を基礎として人間性を豊かにし、チームとして組織を作っていく意識を持つことを知らせることが出来た。

3. わくわくアートタイム(全園展開事業)

活動目標

保育園での最終学年となるさくらぐみの活動の中で、絵画やかきかたを通して、表現力・想像力・思考力を伸ばしていけるようにするとともに、就学に向けてかけはし期のなだらかな移行ができるように、学習態度の土台づくりを進めていく。

■ 内容

月に2回、下記の内容をおこないました。

	絵 画	か き か た
4月	お友達の顔(コンテ使用観察画)	名前、いろいろな線、迷路
5月	大根の観察画(長い画用紙)	ひらがな①、○△うつし書き
6月	にじ(8色絵具セットの使い方)	ひらがな②、グリッド点つなぎ
7月	とうもろこしの観察画(コンテと絵具・虫めがねを使って観察する経験)	ひらがな③、数字点つなぎ
8月	海の中(透明シート・ポスカ使用)	ひらがな④、数字点つなぎ、グリッド
9月	砂絵	ひらがな⑤、数字点つなぎ、グリッド
10月	マンダラ塗り絵(絵具)	ひらがな⑥、まちがいさがし
11月	等身大の自画像	ひらがな⑦、ひらがな点つなぎ
12月	物語の絵「かさじぞう」(墨と筆)	ひらがな⑧、なくなったものさがし
1月		書き初め、ひらがな⑨、ひらがなしりとり
2月	スペシャルアート (各園担当の先生が主になる活動)	ひらがな②、グリッド点つなぎ
3月	おおきくなったら(砂絵と絵具)	

■ 活動を振り返って

- ・ 8色絵の具セットの利用は、子ども達がとても楽しみにしている活動になっている。基本の使い方を覚えられるように、今年度は最初に「にじ」の塗り絵を丁寧におこない、筆の使い方、混色の仕方の練習に時間をかけた。
その後の絵具の使い方が向上して、表現が豊かになり、マンダラ塗り絵では想像以上の色彩感覚できれいな作品ができた。
- ・ 「等身大の自画像」は絵具の使い方が上手になり、作品制作がスムーズだった。園内での掲示が恒例になり、各園、他の学年も保護者にも見ていただける場所に掲示をしていただくことができた。
保護者からは、「この作品を描く年齢になったことが感慨深い」という感想もあり、見える場所に掲示していただく意味を改めて感じた。
- ・ かきかたプリントは、4月当初は個人差が大きいですが、文字だけでなく興味がある迷路、点つ

なぎ、まちがいさがしなど「好きなプリント」を選んで書く時間を増やして繰り返すことで、無理なく書く力や集中力を伸ばすことができたように思う。

- ・五感を刺激し、興味・関心・好奇心を伸ばしていけるような活動を取り入れ、大根の観察やトウモロコシを虫眼鏡で観察した絵画、砂絵、書初めなど用具や題材からの刺激ができるようにした。
また、セロファンの動く魚、紙でつくった打ち上げ花火など不思議を感じたりする手作りおもちゃの紹介もおこない、活動がマンネリにならないように工夫した。
- ・担当の先生方に「スペシャルアート」と「かきかた」を1時間ずつ担当していただいた。どんなねらいで何をやっていただくのか、より具体的に話し合うことが必要だったと感じる。後輩の育成のためにも有意義な時間にするためにも、事前の話し合いでしっかり伝えていくようにしたい。



目から順に描いた『ともだちの顔』



『大根の観察画』



虫眼鏡を使ってとうもろこしを観察



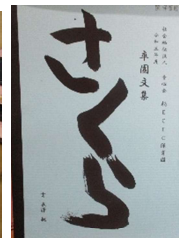
『にじ』（絵具の練習）



『スペシャルアート』



『かさじぞう』



『文集表紙』を自分で書いて一人一人の思い出に

資料添付

「わくわくアート通信」を保護者向けに年4回発行しています。
令和7.12月発行の通信を添付いたします。

さくら組保護者各位

令和7年12月吉日
社会福祉法人童心会
保育アドバイザー 高間道子

さくらわくわくアート通信 第3号(12月号)

4月から始めたわくわくアート、初めは迷路の線も弱々しく図形の書き写しにも苦戦していましたが、今はひらがなを書くスピードも速くなり書く力が伸びてきました。等身大の大きな自画像にも意欲的に挑戦するなど、さくら組の成長を頼もしく感じています。残り3か月、小学校への接続を意識しながらまとめの活動をしていきたいと思います。9～12月の活動を振り返り、作品を一部紹介させていただきます。

絵画

《活動の様子》

◆砂絵（カラー砂とアラビックのり使用）



「間で絵を描く」初めての経験、カラー砂の感触、終了時間になっても手が止まらないほど繰り返し楽しんでいました。

個性が光る作品、配色が素敵です

◆マンドラ塗り絵（個々に8色絵具セット使用）



◆等身大の自画像

大きな作品を1時間半から2時間で描き上げ、乾かしてからハサミで切り取りました。ポーズや色の工夫、切る時はどこから切ったら切りやすいのか考えながら大作を仕上げることができました。



かきかた

《活動の様子》

◆ひらがな練習を毎回6文字ずつやってきましたが、12月で五十音を終えました。筆圧がしっかりしてきて、よく見て書くことも上手になってきました。



集中している姿がかっこいいです



活動の終わりに、練習した文字にシールを貼ります



ひらがなクイズ



ひらがな点つなぎは、五十音表を見ながら挑戦！

園でやっているプリント等を無料ダウンロードできるサイトをご紹介します。
お家で「もっとやりたい」時のご参考まで。
・ちびむすドリル
・ぶりんとキッズ
・学習プリント.com
・こどもプリント
・キッズステップ
・Honda Kids 等々

活動のひとこま

【いつも前を歩いて歩く “わくわくアート”】

私たち童心会の願いは“共育ち・共育て”『子どもたちの笑顔にまもられているわたしたち』という言葉が好きです。
12月になると私の大好きな“等身大の自画像”が発表されます。柏さかさい保育園のある保護者の方がギャラリーを見て涙したと聞きました。

【人に感動を与える
“等身大の自画像”】

理事長 中山 勲

かきかたプリントは、書く力の個人差が大きい活動です。文字が苦手な子にも興味を持ってもらえるように、ひらがなクイズをやってから書く練習をしています。
「る」から始まる言葉は？という質問に「ループル美術館」と答えがあったり、「め」は「メガレックワザ」とポケモンがでてきたり、言葉の豊かさに驚くこともあります。
点つなぎ、迷路、まちがいさがし等々、得意なことはそれぞれですが1時間集中して頑張っています。“みんなちがってみんないい！”個々の得意な能力がどのように成長していくのか楽しみです♡

4. わくわくタイム(全園展開事業)

【活動の概要】

法人内5園の年長児（さくら組・5歳児）を対象としております。

園バスを利用して徒歩では行けない公園や公共施設などの社会資源を活用しながら、興味・関心・好奇心を刺激したわくわくする活動を行っております。

【活動のねらい・目的】

- ・ **五感を刺激する体験**

四季折々の自然を感じることができる公園で、草木や花、木の実などと触れ合い（視覚・嗅覚・触覚）、心身の満足を得られる活動を通して、情緒の安定を図ります。

- ・ **主体的な遊びによる集中力の育成**

手足の指先まで意識を向けながら遊ぶことで、自分の身体を理解し、全身を使った動きや関わり楽しさを味わいます。また、課題を自ら見つけて挑戦する主体性を伸ばします。

- ・ **応援される経験から学ぶ心の成長**

園児の頑張りを温かく見守り、応援することで「がんばること・つづけること・がまんすること」の大切さや楽しさを子どもたち自身が見つけていきます。（※主体性＝「自分の意思」や「やりたい気持ち」から行動する力）

- ・ **感謝の気持ちを育む挨拶**

公園や施設を利用させていただくことへの感謝を込めて、気持ちのこもった挨拶をする習慣を身につけます。

【活動の実施内容】

- ・ 月2回の頻度で各園にて実施。片道30分圏内の公園や施設を訪問し、活動時間は1時間前後としました。

- ・ 子どもの脳を活性化させることを目的に、「人との関わり（人環境）」「室内環境」「外／四季を感じる環境」「社会資源（地域施設等）」を効果的に活用しました。

- ・ 行事と重なる場合は、園の行事を優先、または振替としました。

【活動場所】

園内(みんなの広場) /あけぼの山農業公園 /南部公園 /手賀沼公園 /柏西口第一公園 /リフレッシュプラザ柏 / 柏リフレッシュ公園 / 柏ふるさと公園 / 野々下水辺公園 /増尾城址公園 / 中原ふれあい防災公園 / / やまびこ公園 / 柏の葉公園 /洞峰公園 牛久運動公園/ 乙戸沼公園 / 霞ヶ浦総合公園 / イオンモールつくば / 竜ヶ岡公園 /満点の湯 / 柏中央体育館_幼児体育室 / JAXA 筑波宇宙センター / 南部クリーンセンター

【Instagram 報告】

活動の様子は、保護者の皆さまへInstagramのリール動画でお伝えしています。



【園バス移動について】

- 安全で快適な移動のために、以下のお約束事を守って行動しました：



令和7年度_わくわくタイム年間実施表

R7年度 年間活動一覧表										
園名	柏さかい保育園		柏中央保育園		牛久みらい保育園		柏しんとみ保育園		柏CEC保育園	
月	日	場所	日	場所	日	場所	日	場所	日	場所
R7.4月	7日	手賀沼公園	1日	あけぼの山農業公園	8日	洞峰公園	11日	あけぼの山農業公園	14日	あけぼの山農業公園
	21日	増尾城址公園			22日	牛久運動公園			28日	増尾城址公園
5月	29日	柏ふるさと公園	20日	増尾城址公園	13日	乙戸沼公園	9日	増尾城址公園	12日	柏ふるさと公園
					27日	牛久中央図書館	23日	手賀沼公園	26日	手賀沼公園
6月	2日	手賀の丘公園	3日	南部公園	10日	霞ヶ浦総合公園	13日	南部公園	9日	手賀の丘公園
	16日	やまびこ公園	17日	手賀沼公園	24日	JAXA筑波宇宙センター	27日	やまびこ公園	23日	やまびこ公園
7月	7日	野々下水辺公園	1日	みんなの広場	8日	みんなの広場	11日	野々下水辺公園	14日	さくら組お部屋
			15日	みんなの広場	22日	みんなの広場	25日	みんなの広場	28日	さくら組お部屋
8月	4日	みんなの広場	5日	みんなの広場	26日	みんなの広場	8日	みんなの広場	25日	さくら組お部屋
	18日	みんなの広場	19日	みんなの広場			22日	みんなの広場		
9月	1日	南部公園	2日	柏の葉公園	9日	洞峰公園	12日	南部公園	8日	南部公園
			16日	中原ふれあい防災公園			26日	やまびこ公園	22日	やまびこ公園
10月	6日	中原ふれあい防災公園	7日	あけぼの山農業公園	14日	牛久運動公園	10日	あけぼの山農業公園	27日	あけぼの山農業公園
	20日	柏西口第一公園	21日	手賀沼公園	28日	洞峰公園				
11月	17日	柏ふるさと公園	4日	やまびこ公園	11日	亀ヶ丘公園	14日	柏西口第一公園	10日	柏の葉公園
			18日	手賀の丘公園	25日	乙戸沼公園	28日	柏リフレッシュ公園		
12月	1日	満天の湯(足湯)	2日	満天の湯(足湯)	9日	霞ヶ浦総合公園	12日	手賀沼公園	8日	柏リフレッシュ公園
	15日	柏中央体育館 幼児体育室			23日	洞峰公園	26日	中原ふれあい防災公園	22日	やまびこ公園
R8.1月	5日	柏リフレッシュ公園	6日	柏リフレッシュ公園	13日	洞峰公園	9日	柏リフレッシュ公園	26日	リフレッシュプラザ柏
	19日	リフレッシュプラザ柏	20日	リフレッシュプラザ柏	27日	洞峰公園	23日	リフレッシュプラザ柏		
2月	2日	手賀沼公園	3日	柏リフレッシュ公園	10日	霞ヶ浦総合公園	13日	柏中央体育館 幼児体育室	9日	南部クリーンセンター
	16日	南部クリーンセンター	17日	南部クリーンセンター	24日	牛久クリーンセンター				
3月	2日	南部公園	17日	やまびこ公園	10日	亀ヶ丘公園	13日	南部クリーンセンター	9日	柏中央体育館 幼児体育室
	16日	やまびこ公園			24日	乙戸沼公園	27日	手賀沼公園	23日	手賀沼公園
年間合計		20		20		22		21		19
										102

年間活動合計 102回

活動の振り返り

令和7年度の「わくわくタイム」は、前年度の93回から102回へと回数が増加しました。子どもたちのやりたいという主体性を尊重した体験を通し、心に残る活動となるよう意識して取り組みました。特に、満天の湯様のご協力による足湯体験で温泉の効果を感じられたこと、南部クリーンセンターでの工場見学では、ごみに対する意識を深める貴重な機会となりました。

活動への期待と園児の姿

バスが園に到着する前から、担任の先生が活動内容について子どもたちに期待感を持たせてくださり、当日は「わくわく」した表情で元気に挨拶する姿が見られました。乗車時には「よろしくお願いします」、降車時には「ありがとうございました!」と、相手の目を見て感謝の言葉を伝える姿勢が定着し、思いやりや優しさが育っていることが感じられました。

公共性の学びと約束

移動中のバスでは、約束を守りながら、公共マナーを自然に身につけていきました。移動時間も音楽やレクリエーションなど楽しいひとときとして活用されていました。

時間の意識と主体的な行動

活動時間は1時間前後。限られた時間の中で「今は何をする時間か」という意識を持ち、自らの姿勢を正して遊びの時間を確保しようとする姿が増えました。繰り返しの経験を通して、“話をきちんと聞く＝たくさん遊べる時間”へと繋げ、自分たちで時間をつくる力が育ってきました。

非認知能力の育成

成功体験はもちろん、失敗を恐れず挑戦する“失敗体験”も大切にしながら、粘り強く取り組む力を育んできました。「がんばること・つづけること・がまんすること」という理念に基づき、困っている友だちへの寄り添いや仲間と協力する姿が多く見られました。

環境の活用

園ごとに異なる環境（室内・外遊び・季節・社会資源）を活かしながら、人との関わりや自然とのふれあいを通して、遊びの中で「楽しい」を共有することができました。これにより、仲間意識や思いやりの心が育まれました。

主体性の育ち

肯定的な声かけを心がけることで、子どもたちは自ら選び、考え、遊びを創り出す力を育んでいます。決めすぎず、ルールで縛りすぎない環境づくりを大切にし、子どもたちの気づきや発見を支えることで、自尊心を高めることに繋がっています。

5. 柏さかさい保育園

1) 事業内容(KS)

① 保育所の運営、 ②地域子育て支援拠点事業、 ③一時預かり事業他、
保育事業として延長保育促進事業を実施する。

- ・ 開園して 16 年となるなかで、「思いやりと生きる力」を基本に興味・関心・好奇心・意欲・意志を育んできた。
幼児組は日々の活動に課題を見つけチャレンジする意欲が育つと共に、多くの園行事の体験から「自分でできる、みんなとできる、人のために出来る、助け合ってできる」を経験し、一つひとつ子どもたちが話し合い、助け合いながら自分たちで作り上げ、多くの「がんばること、つづけること、がまんすること」と「やれば出来る！」を実体験した。また、法人の保育として大切に行っている「朝会」では、子どもたちがリーダーとなり楽しんで参加し、ひとり一人が認め合うことで自尊感情、非認知能力を育んでいる。職員による音楽リズム、絵画、文字、課外活動において、同じ体験を共有することで心を育て、知識を獲得することで自信をもち就学に繋げることが出来た。
- ・ 4, 5 歳児のお泊り保育は安全対策のもと、5歳児は外部にて、4 歳児は園内泊のお泊り保育を実施。3歳児は夕涼み会として園内で20時まで友達と過ごし、お泊り保育の目標を達成した。。運動会は全クラスの開催とし、クリスマス生活発表会は乳幼児を別開催にするなど新しい試みの中の良さを活かして開催した。
- ・ 特別な支援が必要とされる園児や、集団での生活に援助が必要な園児に対して、地域保健福祉課、ウェルネス発達支援センターなどの行政や各療育施設と連携を取り適切な支援を行い、小学校との接続もスムーズに行う。
- ・ 夏まつりはおやじの会の方々に駐車場やブースのお手伝いを頂き、多くの子どもたちとふれあいながら、大人も子どもも季節の伝統行事を実施した。
- ・ 自園の異年齢児交流保育も盛んに行い、姉妹園とはマラソン交流会を開催。公園里親ボランティアの活動では公園のごみ拾い活動を行った。また5歳児はリーダー活動として朝やお昼の放送と、朝の人数確認で各クラスを周り、役割を務めることに対して「ありがとう」の言葉を受けて人のためになる喜びを感じる経験を重ねた。
- ・ 子育て支援まことちゃんは安全な場所を求め地域の親子連れが積極的に利用していた。人との交流を避けられていた時期があったからこそ必要な場とな

り利用者の育児に対する悩みを聞いたり、こちらからメールで近況を伺ったりして、「一人ではない」ことを感じてもらえるように繋がりを意識し活動をする。

- ・ 園活動においてはファミリー会として保護者から、またおやじの会からの協力をいただき、共に歩みながら進めている。
- ・ 保育士養成校 7校 10名、慈恵柏看護専門学校7名の受け入れをし、保育や地域の子育て支援について伝えている。
- ・ 近隣の中学校の職場体験では2名、柏陵高校 2、3 年生のインターシップは 8 名を受け入れ、近隣の小学校とは交流会の参加や、手作りおもちゃをもらい大変有意義な交流となった。

2) 児童の在籍状況(KS)

区分	月 初 日 在 籍 児 童 数				
	乳 児	1 歳～2 歳児	3 歳児	4 歳以上児	計
4 月	21	48	24	48	141
5 月	24	48	24	48	144
6 月	24	48	24	48	144
7 月	23	48	24	48	143
8 月	24	48	24	48	144
9 月	24	48	24	48	144
10 月	24	48	24	48	144
11 月	23	48	24	47	142
12 月	24	48	24	47	143
1 月	24	48	24	47	143
2 月	24	48	24	47	143
3 月	24	48	24	47	143
計	283	576	288	571	1718

3) 保育園の保守管理(KS)

当園は、専門業者による定期的な清掃及び修繕点検を実施し、壁紙等の修繕工事を行う。

また、保育室の遊具・器具(椅子やテーブル等)等の破損は事故防止のため迅速且つ周期的に点検し必要であれば修繕する体制である。

保育室は、病気・感染症等が誘発させないよう室内の消毒はもちろんのこと空気清浄機、サーキュレーター、アルコールを設置すると共に清潔を維持している。

4) 消防・地震計画(KS)

園内における防火管理の徹底と災害による人的、物理被害を最小限に防ぐため毎月1回の避難訓練を実施している。

訓練事項	訓練時期	備 考
非常災害訓練	月 1 回	時間外(朝と夕方)訓練 各 1 回実施 午睡時の訓練 竜巻発生時の訓練 抜き打ち訓練 防犯訓練
引渡し訓練(地震)	年 1 回	
消火訓練	年 1 回	職員参加
防火装置の検査	年 2 回	消防署へ連絡
その他	年 1 回	119 番通報訓練 職員 AED, 心肺蘇生講習 職員 エピペン指導 職員 嘔吐処理 職員

5) 保健衛生(KS)

病気、怪我、感染症等にかからないように予防処置と室内清掃に関して職員一同意識向上させている。

様々な感染症に対して園児、職員の健康観察や行政からの情報提供に努め、必要に応じて感染の流行防止対策を徹底した。

園児： 嘱託内科医による内科健診(年2回)。嘱託歯科医による歯科健診(年1回)身体測定(月1回)尿検査(年1回)の実施。視力検査の実施。歯磨きや手洗いなどの衛生指導。
急な発熱等の体調不良児の対応。ケガした場合の病院受診。

職員：健康診断(年1回)。腸内細菌検査(毎月)。感染症対策、消毒の仕方について職員研修を実施。

保護者：ほけんだよりの発行(月1回)。各予防接種の確認

6) 各種行事の実施状況(KS)

行事は下記の表のように童心会の特徴である四季のまつりを始め園児・保護者・地域を対象に毎月開催されている。公園里親ボランティア活動は、近年はコロナウイルス感染症の経験から公園のトイレ掃除は見送り、公園内のごみ拾いを行った。

※ 誕生会、映画会、身体測定、毎月実施

※ 実習生は随時受入(令和7年度は10名を受入れ)

本年度は 道灌山学園保育福祉専門学校 2名、
千葉こども専門学校 1名、 淑徳大学 1名
江戸川大学おおたかの森 2名、 東京未来大学 1名
千葉女子専門学校 2名、 帝京大学 1名

実施月	行事名
4月	・進級式・入園式・春まつり
5月	・バス遠足・筑波山登山(5歳児)・こどもの日のつどい ・引渡し訓練・カスミ食育体験(5歳児)
6月	・個人面談・内科検診・尿検査・歯科検診 ・お泊り保育(4.5歳児)
7月	・視力検査(5歳児)・七夕の集い・夕涼み会(3歳児) ・プール開き
8月	・プール納め
9月	・視力検査(4歳児) ・ふれあいパーティー(年長組のみ祖父母を招待、全園児手紙)
10月	・運動会・交通安全教室・秋まつり鑑賞会・ハロウィン
11月	・5歳児 10km ウォーク ・バス遠足・芋ほり・マラソン記録会(1回目)
12月	・クリスマス生活発表会・内科健診
1月	・マラソン記録会(2回目)
2月	・冬まつり(節分豆まき製作)・5園マラソン交流会(5歳児) ・視力検査 3歳児
3月	・お弁当屋さん・ひなまつり集会 ・おにいさんおねえさんありがとうの会・卒園遠足 ・卒園式

7) 職員の充足状況(KS)

① 定員120名 弾力運営 145名

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員	20名	20名	20名	20名	20名	20名

② 職員の配置基準とその配置

◇ 職員配置基準

区分	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児
配置 対比	3:1	6:1	20:1	30:1

※ 園児 : 職員

◇ 国の示す職員配置基準

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1名	22名	3名	26名

② 現員(令和8年4月1日現在)

区分	園長	主任 保育士	保育士	短時間 保育士	看護師	事務員
配置	1名	1名	29名	3名	1名	2名
区分	みなし	サポーター	栄養士	調理員	全職員 48名	
配置	4名	1名	1名	5名		

※ 派遣保育士は保育士に含む(2名)

※ みなし=子育て支援員

6. 柏中央保育園

1) 事業内容(KC)

① 保育所運営、②地域子育て支援拠点事業、③一時預かり事業
他、保育事業として延長保育促進事業も実施する。

駅近ということもあり、都内で就労する保護者も多く、18時以降延長保育を利用する園児は平均15名になる。

- ・ 特別な支援が必要な子への対応について、令和7年度は11名(多動傾向、自閉症傾向、軽度の遅れ)に対して、それぞれのクラスに補助職員が入り保育サポートを行う。共に暮らすことにより、挑戦しようとする意欲や、相手への思いやりの心も育まれ微笑ましい場面が多く見られる。
- ・ 里親活動
園外での活動が殆どのため、使用している一部の公園の里親活動を行う。
「あたりまえ」ではなく、「ありがとう」の感謝の気持ちを大事に出来る子に育つよう公園の清掃活動を定期的に行う。
- ・ 基本的生活習慣を大事に、衣服の着脱、トイレトレーニング、食事のお約束、フォークや箸の持ち方、お友達、人との関わりなど、生きるために必要なことを、保育園という小さな社会の中で学び、たくさんの刺激ある暮らしの中で、
『ひとりでもできる みんなでできる 人のためにできる』
ことを増やしていく。
- ・ 本園は、社会資源を活用し園外活動に力を入れている。散歩、買い物、見学など、目的をもって充実した時間を持てるよう計画的に行う。園バスを利用した活動もあり、いろいろな経験体験の中で、『イキイキ・ワクワク・ハラハラ・ドキドキ』を感じられるような時間が持てるよう推進している。
- ・ 暮らしの中で、たくさんのスペシャリストに協力していただきながらたくさんの刺激ある活動を取り入れている。
【わくわくアート】【わくわくタイム】【幼児体育】【音楽リズム遊び】
専門の先生にご指導いただくことにより職員の学びの場となり良い刺激になっている。
※ワクワクアートについては、補助の職員が「ワクワクアート」活動に入り月2回のアート活動以外でも補助職員が数回アートの時間を行い就学に向け楽しみながら座れる時間を作る。

- 食育活動の一環として、柏たなか農園の畑を借用し、幼児クラスによる野菜栽培を実施。3月に畝立てを行い、かぶ・小松菜・大根の種まきを開始、4月には枝豆とうもろこしの種まきを行う。初期収穫後は畝を整備し、なす・オクラ・きゅうり・ピーマンの苗を植え付け、継続して水やり・草取り・収穫を行っています。収穫した野菜はクラスで分配するとともに、保護者へ周知し、自由に持ち帰っていただけるようにした。子どもたちが栽培・収穫の過程に主体的に関わることで、食材への興味関心や食への意欲を深めることをねらいとして取り組んでいる。

2) 児童の在籍状況(KC)

区分	月 初 日 在 籍 児 童 数				
	乳 児	1 歳～2 歳児	3 歳児	4 歳以上児	計
4 月	8	39	18	38	104
5 月	10	39	19	38	106
6 月	10	38	19	38	105
7 月	11	39	19	38	107
8 月	12	39	19	37	107
9 月	12	39	19	37	107
10 月	12	39	19	37	107
11 月	12	38	19	38	107
12 月	12	39	19	38	107
1 月	12	39	19	38	108
2 月	12	39	19	38	108
3 月	12	39	19	38	108
計	133	466	226	453	1,280

3) 保育園の保守管理(KC)

当園では、毎日の掃除及び定期的点検実施する。

玩具に破損部分がないか定期的に確認すると共に、乳児クラスの玩具については、毎日電解水を使用し衛生的環境が保てるように心掛ける。また、使用した玩具は、オゾン保管庫で消毒をする。

幼児クラスの玩具についても電解水を利用し定期的に清掃すると共に、保育室は園児が自分で作った雑巾で水拭き掃除を行う。

4) 消防・地震計画(KC)

地震火災が起きたことを想定しての避難訓練、引き渡し訓練、夜間訓練は勿論のこと、避難場所の確認、避難靴、非常食など、職員、そして保護者との共通理解できるよう実施した。8月には、同ビルのKDDIと一緒に合同避難訓練を行う。

訓練事項	訓練時期	備考
非常災害訓練	月1回	夜間(夕方)、午睡時間 訓練1回実施
引き渡し訓練	年1回	保護者への周知
消火訓練	年1回	職員参加
不審者訓練	年2回	施設内外にて園児含め行う
防火装置の検査	年2回	消防署へ報告(義務年1回)
その他	年1回	119番通報訓練

5) 保健衛生 (KC)

病気・怪我・感染症には細心の注意を払い、感染症が流行した際には、病名を掲示板で周知するとともに、「病気に負けない強い体づくり」の大切さを保護者の皆様にご理解いただけるよう、食事や睡眠の重要性について「おがスマ」等で定期的にお知らせしています。感染拡大防止に努めるのはもちろんのこと、園児たちの健康管理として、年2回の内科健診、年1回の歯科健診を実施しています。そのほかにも尿検査を行い、職員に対しては月1回の腸内細菌検査を実施するなど、全体の衛生管理に努めています。看護師は定期的に各クラスを巡回し、病気などの相談に応じるほか、育児相談会や怪我をした子どもの対応も行っており、保育士にとっても安心できる存在となっています。近年は、年間を通して流行する感染性胃腸炎、インフルエンザ、コロナウイルスなどへの対策として、塩素系殺菌剤による室内消毒を徹底しています。各部屋には加湿器、空気清浄機を設置し、特に感染症が流行しやすい冬季には、清掃や消毒を念入りに行い、清潔な環境の維持に努めています。さらに、看護師による衛生管理の指導を定期的に行い、職員全体で意識を高めながら、園児の健康を守る体制を整える。

6) 各種幼児の実施状況(KC)

実施月	行事名
4月	入園式・春まつり進級式・10キロウォーク
5月	こどもの日の集い・筑波山登山お泊り保育・収穫体験(4・5歳児)・内科検診
6月	プール開き・4歳お泊り保育・尿検査
7月	七夕の集い・夏まつり
8月	歯磨き指導 夕涼み会(3歳児)
9月	引き渡し訓練・視力検査(4・5歳児) おじいちゃん・おばあちゃんふれあいパーティー(5歳児祖父母招待)
10月	親子運動会・ハロウィンパーティー
11月	第1回マラソン記録会・収穫体験(2・3歳児)
12月	クリスマス生活発表会・クッキング・もちつき
1月	第2回マラソン記録会・マラソン交流会(5歳児)
2月	節分豆まきの会・バレンタインクッキング・視力検査(3歳児) ・冬まつり
3月	卒園遠足(10キロウォーク)・ひなまつりの会・ありがとうの会 ・卒園式・入園説明会

※誕生会、身体測定は毎月実施

7) 職員の充足状況(KC)

① 定員90名 弾力運営 107名

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員	10名	16名	16名	16名	16名	16名

② 職員の配置基準とその配置

◇ 職員配置基準

区分	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児
配置対比	3:1	6:1	20:1	30:1

※ 園児 : 職員

◇ 国の示す職員配置基準

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1名	18名	2名	21名

③ 現員(令和8年4月1日現在)

区分	園長	主任 保育士	保育士	みなし	栄養士	
配置	1名	1名	24名	3名	1名	
区分	調理員	事務員	看護師	保育補助	SV	全職員 38名
配置	4名	(1名)	1名	2名	1名	

※ みなし=子育て支援員

※ 事務員は保育士兼務

7. 牛久みらい保育園

1) 事業内容(UM)

牛久みらい保育園は、平成25年4月1日にひたち野うしく駅西口から徒歩15分のところに開園し、下記の3事業を柱に運営している。

① 保育所運営、② 地域子育て支援拠点事業、③ 一時預かり事業

その他、特別保育事業として、病児保育事業(体調不良児対応型、病後児保育)延長保育促進事業も実施している。

また、受け入れ定員の弾力化により園児の追加受け入れを行い、牛久市の待機児童の解消および、委託費収入の増へつながった。

- ・ 保育活動、行事運営については、園内外の環境や地域資源を活かし、子どもたちの五感を刺激しながら心身の健やかな育ちにつなげていった。専門指導員による幼児体育やわくわくアート、わくわくタイム(園外活動)充実させ、また、看護師と連携した保健衛生・命の大切さを学び、調理室と連携して食育活動、職員の特技をいかした音楽活動も取り入れて行い、ドキドキわくわくする保育園づくりに努めた。
- ・ スクール活動(月:体操、木:サッカー)について2年目を迎えた。徐々に入会者も増えてきているため、今後も他機関との連携、職員の業務改善、保護者のニーズ、園の特色として確立を目指していきたい。
- ・ 子育て支援センター事業「としおちゃんのお家」の活動については、毎月の製作あそび、食事体験会、園行事への参加等を通して、子育て支援センター利用のきっかけとなった。担当だけではなく園全体での受け入れを意識し、保育園の専門性を活かした活動を展開、利用者からの相談対応、子育て家庭の支援につながった。
- ・ 一時預かり保育事業については、積極的に受け入れ利用者増、年間利用人数が116名(R6年度58名)、今後も利用者の多様なニーズに対応すること、子育て支援センターの活動との連携につなげていきたい。
- ・ 病後児保育事業については、新規登録17名(令和6年度:38名)、年間通しての利用人数は27名(令和6年度:17名)、利用者数は昨年度より増となったが、コロナ禍以降園外での広報活動に課題、次年度は積極的に情報発信に努める。
- ・ 保護者会については、R6 年度より新体制(ファミリー会活動費の集金)となっ

たが、引き続き、理解、協力を得て四季のおまつりや、運動会、発表会での景品や観劇代等で園児へ還元することができた。今後も充実した保育園活動のために保護者、園が一体となってすすめていきたい。

2) 児童の在籍状況(UM)

区分 月	月 初 日 在 籍 児 童 数				
	乳 児	1 歳～2 歳児	3 歳児	4 歳児以上	計
4 月	10	36	18	33	97
5 月	11	36	18	33	98
6 月	12	36	18	33	99
7 月	13	36	18	33	100
8 月	14	36	18	33	101
9 月	14	36	18	33	101
10 月	15	36	18	33	102
11 月	15	36	18	33	102
12 月	15	36	18	36	105
1 月	15	36	18	36	105
2 月	15	36	18	36	105
3 月	15	36	18	36	105
計	164	432	216	408	1220

3) 保育園の保守管理(UM)

保健部が中心となり、園児、職員の健康管理、感染症情報などについて保護者への周知、協力依頼を続けた。また保育室内の清掃消毒の徹底及び玩具の定期的な消毒を行っている。

4) 消防・地震計画(UM)

園内における防火管理の徹底と災害による人的、物理被害を最小限に防ぐため毎月 1 回の避難訓練を実施している。

訓練事項	訓練時期	備 考
非常災害訓練	月 1 回	地震・火災・竜巻・夜間対応・抜き打ち訓練含む

消火訓練実習	年 1 回	職員参加(消防署員来園)
消防機材の点検	年 2 回	消防署へ連絡
その他	年1回	119 番通報訓練 職員

5) 保健衛生(UM)

園児：嘱託内科医による内科健診(年 2 回)、嘱託歯科医による歯科健診(年 2 回)及び尿検査を実施。また看護師による歯磨き・手洗いなどの保健指導、命の大切さを学ぶマタニティ体験の実施。

職員：健康診断(年 1 回)、腸内細菌検査(毎月)を実施、また看護師による感染症対策、救急処置方法などについて研修の実施。

保護者：ほけんだよりの発行(毎月)、エントランスに設けた「ほけんコーナー」にて保育園(市内近隣)の感染症の状況などの掲示を行い、都度情報を発信して、注意喚起を行った。

6) 各種行事の実施状況(UM)

実施月	行事名
4 月	入園式
5 月	こどもの日のつどい・春まつり(クラス懇談会・親子ふれあい遊び)・春のバス遠足・筑波山登山(5歳児)・内科健診
6 月	歯科健診 ・お泊り保育(5歳児)・お泊り保育(4 歳児)
7 月	七夕のつどい ・プール開き・食育教室(5歳児)
8 月	夏まつり(台風接近のため園内開催)・プール納め
9 月	敬老の日プレゼント
10 月	親子うんどう会・秋まつり(人形劇鑑賞)
11 月	秋のバス遠足・10km ウォーク・スペシャルデイ(3歳児)
12 月	クリスマス生活発表会・もちつき
1 月	内科健診・マラソン記録会・童心会マラソン交流会
2 月	節分豆まき・歯科健診・新年度入園説明会・ありがとうの会 ・冬まつり(クラス懇談会・親子ふれあい遊び・フォトコンテスト)
3 月	ひなまつりの会 ・卒園遠足(マクセルアクアパーク品川)・卒園式

※ 誕生会、映画会(幼児・乳児)、身体測定、交通安全教室は毎月実施

※ 4・5 歳児は専門の指導員による幼児体育を実施(月 2 回)、5 歳児は高間先生による文字の書き方、絵画指導(月 2 回)、力公先生による園外活動を実施(月 2 回)

※ 実習生受け入れ

聖徳大学 1名(R8 年度採用につながった)

7) 職員の充足状況(UM)

① 定員 90 名 弾力運営受け入れ最大105名

区分	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
定員	15 名	15 名	15 名	15 名	15 名	15 名	90名

② 職員の配置基準とその配置

※ 職員配置基準(園児:職員)

区分	0 歳児	1・2歳児	3 歳児	4・5歳児
配置対比	3:1	6:1	15:1	30:1

◇ 国の示す職員配置基準

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1名	13名	2名	16名

※上記配置基準は特別保育事業の加配人員は除く

③ 現員(令和8年4月 1 日現在)

区分	園長	主任保育士	保育士	看護師	栄養士
配置	1 名	1 名	21名	3名	1 名
区分	調理員	用務員	事務員	全職員 33名	
配置	4名	1 名	1 名		

8. 柏しんとみ保育園

1) 事業内容(KT)

柏しんとみ保育園は、平成27年4月1日に開園し11年が経過する。流山市に隣接し他市からの問い合わせも多く、園見学に多くの方が来園されている。

事業は2事業を柱に運営している。

- ① 保育所の運営、② 一時預かり事業を展開し、他保育事業として延長保育促進事業も実施する。なお地域子育て支援拠点事業は隣接している為、市からは不認可だが園庭開放など近隣の子育て仲間とのコミュニケーションを図る為に行っている。

◇ 保育目標(保育活動、外環境利用等)

- ・「思いやりと生きる力」を目標に保育方針である、たくさん抱きしめ、よく見つめ、しっかり耳を傾けて、沢山話しながら日々子ども達と向き合い、応答関係を大切にして興味・関心・好奇心・意欲・意志を育てている。
- ・「笑顔・挨拶・思いやり・感謝」は生きる心得として常に一人一人が心掛けており、皆が過ごしやすい園づくり・村づくりを作っている。
- ・専門の先生による音楽リズムセラピー・わくわくアート・わくわくタイム・幼児体育では、様々な経験・体験を通して五感を刺激し脳の発達に繋げ心と身体を豊かにしている。
- ・野菜や米を育てる経験をする事で、食への興味や美味しくいただくことの大切さや感謝の気持ちを学んでいる。
- ・園外保育活動では地域の公園を沢山利用している。地域の方と交流しながら、遊び方、公共の施設の使い方など様々な経験・体験を通して多くのことを身につけている。
- ・保護者の方々にも多くの行事に参加をして頂き、柏しんとみ保育園の繋がりを大切にし、村づくりをはかる。行事や普段の様子をSNSで配信して、保護者の方に幅広い方向から園の様子を知っていただいた。

◇ 地域貢献

- ・『地域交流会や子育て支援』を独自に行い、地域密着型を目指す活動及び子育ての不安を喜びに変えられるような場所になればと園内見学、園庭開放を行い、園児との関わりの中から沢山の発見とお互いの学びの場となるようにと考え努めるよう心掛けている。
- ・『公園里親活動』4, 5歳児が笹原第4公園の清掃活動を定期的に行い、きれいになる喜びや人の役に立つ経験をする。
- ・小学校接続を目的とした、小学校との交流として柏市立柏第二小学校の一年生と交流を持ち、就学に期待をもてるようにした。また一人ひとりの引

継ぎも丁寧に実施する。

2) 児童の在籍状況(KT)

区分	月 初 日 在 籍 児 童 数				
	乳 児	1 歳～2 歳児	3 歳児	4 歳以上児	計
4 月	2	39	19	36	96
5 月	2	39	19	35	95
6 月	4	39	19	35	97
7 月	8	39	19	35	101
8 月	13	37	19	34	103
9 月	13	38	19	34	104
10 月	13	38	19	33	103
11 月	13	38	19	33	103
12 月	13	38	19	33	103
1 月	13	39	19	33	104
2 月	13	39	19	33	104
3 月	13	39	19	33	104
計	120	462	228	407	1,217

3) 保育園の保守管理(KT)

当園は、日々の定期的な清掃及び修繕・安全点検を実施している。

また、保育室の遊具・器具(椅子やテーブル等)等の破損は事故防止のため迅速且つ周期的に点検し必要であれば修繕する体制である。

※毎週午睡時に職員当番による安全確認と月1回全体清掃日を実施。

保育室は、病気・感染症等が誘発させないよう室内の玩具消毒はもちろんのこと布団や床・窓等の消毒もこまめに実施し清潔を維持している。

また園庭も草むしりや危険物の落下等がないかを点検し、子ども達が常に安全に過ごせるよう心掛けている。

4) 消防・地震計画(KT)

園内における防火管理の徹底と災害による人的、物理被害を最小限に防ぐため毎月1回の避難訓練を実施している。

訓練事項	訓練時期	備 考
非常災害訓練	月 1 回	時間外訓練 午睡時の訓練

		竜巻発生時の訓練 抜き打ち訓練
防犯訓練	2回	抜き打ち
引渡し訓練(地震)	年 1 回	非常時に備えた訓練
防火装置の検査	年 2 回	消防署へ連絡
その他	年 1 回	119 番通報訓練 職員

5) 保健衛生(KT)

保護者へおがーるによる情報提供、手紙の配布、園内ポスター掲示等により感染症対策の協力をお願いする。園児にも手洗い・うがい指導を実施し感染症対策を伝えていく。また病気、怪我、感染症等にかからないように予防処置と室内清掃に関して職員で意識向上させている。

熱中症対策やプール活動、SIDS 対策についても、園内研修を行い安全に保育ができるように意識向上していった。

園児： 嘱託内科医による内科健診(年1回)。嘱託歯科医による歯科検診(年1回)。身体測定(月1回)尿検査の実施。視力検査の実施。歯磨きや手洗いなどの衛生指導。急な発熱等の体調不良児の対応。ケガをした場合の病院受診。

職員： 健康診断(年1回)。腸内細菌検査(毎月)。感染症対策の研修(インフルエンザ・嘔吐下痢)

保護者： ほけんだよりの発行(月1回)。各予防接種、健診の確認。感染症流行期にはおがーるでの連絡や園内掲示にて情報を発信し保護者の方へ素早く情報を提供し、家庭でもできる範囲の感染症対策のご協力をお願いする。

6) 各種行事の実施状況(KT)

月	行 事
4	入園式、進級式、懇談会、10 キロウォーク(5 歳児)
5	こどもの日の集い、遠足、お泊まり保育(5 歳児)
6	お泊まり保育(4 歳児)、手洗い指導(3、4、5歳児)、歯科検診、内科健診、プール開き
7	七夕の集い、夕涼み会(3 歳児)、夏まつり

8	プール納め、引き渡し訓練
9	敬老の日の集い
10	親子うんどう会、人形劇、秋まつり、遠足
11	視力検査(5歳児)、プレマラソン
12	クリスマス生活発表会、大掃除、視力検査(4歳児)
1	おもちゃつき、マラソン記録会、内科健診、マラソン交流会、冬まつり
2	節分、視力検査(3歳児)、卒園遠足
3	ひなまつりの集い、入園説明会、お兄さんお姉さんありがとうの会、卒園式、入園保護者面談、

※ 毎月行事:誕生会・避難訓練・身体測定・音楽リズムセラピー・4,5歳児幼児体育・5歳児わくわくアート・5歳児わくわくタイム、表彰、公園清掃、食育活動
※

7) 職員の充足状況(KT)

① 定員(90名) 弾力運営 108名

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員	13名	19名	19名	19名	19名	19名

② 職員の配置基準とその配置

◇ 職員配置基準

区分	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児
配置対比	3:1	6:1	15:1	25:1

● 園児 : 職員

◇ 国の示す職員配置基準(定員数による配置基準)

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1名	19名	3名	24名

② 現員(令和8年4月1日現在)

区分	園長	主任保育士	保育士	栄養士	調理員
配置	1名	1名	24名	1名	3名
区分	看護師	みなし (子育て支援員兼務)	SV	保育補助	全職員37名
配置	1名	4名	1名	1名	

※ みなし=子育て支援員

※ 事務員1名はみなし兼務

9. 柏 ECEC 保育園

1) 事業内容(EC)

柏 ECEC 保育園は、平成 30 年 4 月 1 日より開園し 7 年が過ぎた。
柏駅東口の駅近くということもあり園見学に来られる方も多い。

事業は 2 事業を柱に運営している。

- ① 保育所の運営、 ② 一時預かり事業を展開し、他保育事業として延長保育促進事業も実施する。

◇保育目標(保育活動、外環境利用等)

- ・「思いやりと生きる力」を保育方針にそってよく見つめ、抱きしめ、耳を傾けて聴き、沢山話しながら日々子ども達と向き合い、「思いやりと生きる力」を基本に興味・関心・好奇心・意欲・意思を育てている。
- ・プランター栽培で稲や野菜、花を育てる経験をし、それを用いてクッキング体験に繋げていき、食への興味や美味しくいただくことの大切さを知る。
0歳児から、様々な食材に触れる経験を取り入れ、各クラス毎月の食育活動の充実を図った。
- ・地域の公園を利用することは、地域の方を知る事、又道路を歩くルールを日々の積み重ねの中で、危険性を知り身についていく事や歩く体力も意識して行う。近隣の立地上、行ける公園も限られており固定遊具で身体を活用しながら遊ぶ経験も少ない為、公園までの移動は徒歩だけではなくバスでも移動をし、公園での遊ぶ時間を長時間確保できるように進めていった。
- ・特別な支援が必要なお子さんや集団での保育が苦手なお子さんに対して、柏市子ども発達支援センターや訪問支援事業など専門機関との連携を大切にし個々の育ちに対して、集団の中において適切な支援を行った。
- ・外部や内部の専任講師による幼児体育・音楽リズムセラピー・わくわくアート・わくわくタイムでは、日頃の保育の中では見られない子どもの姿や成長を見ることができ、園児だけではなく、保育者も沢山の学びを得て成長できる時間となっている。また、それらを MT で共有することで、レベルを変えて他クラスでも取り組むことができ、保育の幅も広がっている。

◇地域貢献

- ・園見学を通して、保育園についてまた(童)について、しっかりと発信することで地域コミュニティの核となる場所があることを、伝えることができた。
地域の方の子育てに関する相談を受けることで地域の方との繋がりや、保育園

の役割を伝えていくことができた。

- ・ 一時保育の受け入れの問い合わせも増え、受け入れを行っている。
- ・ 保育士養成校や看護学生の実習生を積極的に受け入れ、互いに学びとなる機会を設けることで、職員にとっても刺激となった。

◇保護者との協同

- ・ 5歳児保護者にはファミリー会代表として、親子うんどう会・ハロウィンイベント・クリスマスの行事においてお手伝いを募り、園での子ども達の姿に触れてもらいながら、園への理解を深めて頂く事ができた。

2) 児童の在籍状況(EC)

区分	月 初 日 在 籍 児 童 数				
	乳 児	1 歳～2 歳児	3 歳児	4 歳以上児	計
4 月	6	33	18	34	91
5 月	7	33	18	34	92
6 月	7	33	18	34	92
7 月	7	33	18	34	92
8 月	9	33	18	34	94
9 月	9	33	18	34	94
10 月	9	33	18	34	94
11 月	9	33	18	34	94
12 月	8	33	18	34	93
1 月	9	33	18	35	95
2 月	9	33	18	35	95
3 月	9	33	18	35	95
計	98	396	216	411	1,121

3) 保育園の保守管理(EC)

当園は、日々の定期的な清掃及び修繕・安全点検を実施している。

また、保育室の遊具・器具(椅子やテーブル等)等の破損は事故防止のため迅速且つ周期的に点検し必要であれば修繕する体制である。

保育室は、病気・感染症等が誘発させないよう室内の消毒はもちろんのこと空気清浄機を設置すると共に清潔を維持している。

4) 消防・地震計画(EC)

園内における防火管理の徹底と災害による人的、物理被害を最小限に防ぐため地震・火災・防犯の避難訓練を実施している。9月の防災週間には保護者の方とも年1回の確認ができるように引き渡し訓練を実施している。

訓練事項	訓練時期	備 考
非常災害訓練	月 1 回	地震・火災・午睡・夜間 抜き打ち訓練
防犯訓練	年2回	抜き打ち
引渡し訓練(地震)	年 1 回	非常時に備えた訓練
消火訓練	年 1 回	職員参加
防火装置の検査	年 2 回	消防署へ連絡
その他	年 1 回	119 番通報訓練 職員

5) 保健衛生(EC)

病気、怪我、感染症等にかからないように予防処置と室内清掃に関して職員一同意識向上させている。

園児： 嘱託内科医による内科健診(年2回)。嘱託歯科医による歯科検診(年1回)身体測定(月1回)尿検査(4、5歳児)の実施。視力検査の実施。歯磨きや手洗いなどの衛生指導。急な発熱等の体調不良児の対応。ケガした場合の病院受診。

職員： 健康診断(年1回)。腸内細菌検査(毎月)。感染症対策、インフルエンザ対策、熱中症対策、救急処置方法、玩具消毒(乳児クラスは毎日、幼児クラスは週末)
看護師による保健衛生の園内研修も定期的に設定し職員の意識の向上に繋げている。

保護者： ほけんだよりの発行(月1回)。各予防接種の確認。感染症流行時には、保護者へ情報発信をし、保護者の方にも感染症への意識を高めてもらい園児の健康な身体作りを共に行っていった。

6) 各種行事の実施状況(EC)

月	行 事
4	入園式、春の遠足、さくら組10キロウォーク
5	子どもの日の集い、春まつり

6	さくら組お泊り保育登山、ひまわり組お泊り保育、歯科検診、内科検診
7	プール開き、七夕の集い、夏まつり、個人面談
8	たんぽぽ組夕涼み会、プール納め
9	引き渡し訓練、さくら組ふれ愛パーティー、ふれ愛プレゼント渡し、親子うんどう会
10	秋の遠足、秋まつり・ハロウィン、さくら組ひまわり組お芋掘り、第一回マラソン記録会
11	さくら組消防署見学、第二回マラソン記録会
12	クリスマス生活発表会、もちつき会、お楽しみクリスマス、大掃除
1	さくら組小学校交流会、マラソン交流会、内科検診
2	節分・豆まきの会、バレンタインクッキング
3	ひなまつりの会、入園説明会、さくら組カスミ食育、ありがとうの会、卒園式

※ 毎月行事:誕生会・避難訓練・身体測定・幼児体育・音楽リズムセラピー・食育活動

1. 職員の充足状況(EC)

① 定員(80名) 弾力運営 96名

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員	7	15	18	18	18	16

② 職員の配置基準とその配置

◇ 職員配置基準

区分	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児
配置 対比	3:1	6:1	15:1	25:1

● 園児 : 職員

◇ 国の示す職員配置基準(定員数による配置基準)

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1 名	12 名	2 名	15 名

② 現員(令和 8 年 4 月 1 日現在)

区分	園長	主任保育士	保育士	栄養士	調理員
配置	1 名	1 名	22 名	1 名	2 名
区分	看護師	保育補助	事務員	全職員 29 名	
配置	1 名	1 名	(1 名)		

※ 事務員は保育士兼務

10. 柏みらいこども学園

1) 事業内容(KM)

令和7年度は、前年度(令和6年11月～)の事業開始期を経て、3事業を柱として運営している。

① 児童発達支援、②放課後等デイサービス、③保育所等訪問支援

柏中央保育園4階を拠点とし、障害や発達につまづきのあるお子さまに対し、日常生活動作の習得、コミュニケーション支援、集団参加の経験、感覚運動面の課題へのアプローチなど、個別支援計画に基づく支援を実施している。

・放課後等デイサービスでは、就学後の新しい環境への適応を支援し、安心して過ごすことのできる居場所としての役割を果たしている。事業所が保育園内にあることで、幼児期から慣れ親しんだ放課後の時間は、保護者にとっても安心感に繋がっている。

・保育所等訪問支援については、契約児童は0名であったものの、事業開始に向けた基盤整備の年として位置づけ、地域の連携構築を進めた。(柏市自立支援協議会における各事業所連絡に参加)また、法人内保育園との連携を深め、園児の発達支援における課題共有を行い、次年度以降の利用促進に向けた準備を整えている。

2) 利用定員

現在は3事業で1日利用者数10名まで

3) 職員体制(令和8年6月1日現在)

令和7年度は、より充実した支援提供に向け、採用準備や配置計画を進め基盤整備を行った。

職種	定数	現員
管理者	1名	1名
児童発達支援管理責任者	1名	1名
保育士又は児童指導員	2名	3名

※ 保育士は柏中央保育園と兼務

※ 児童指導員は非常勤

4) 利用状況

◇ 月毎延べ利用人数

	児童発達支援	放課後等デイサービス
4月	29	19
5月	27	20

6 月	26	21
7 月	33	20
8 月	30	19
9 月	49	19
10 月	49	20
11 月	46	13
12 月	35	15
1 月	37	14
2 月	39	11
3 月	48	17
計	448	208

◇ **利用児童の状況**

児童発達支援は、法人内保育園（柏中央保育園・柏しんとみ保育園）を中心に利用があり、一部未就園児の利用が見られた。
放課後等デイサービスは、柏中央保育園の卒園児が利用している。

◇ **利用相談・発達に関する相談の受付状況**

令和 7 年度は、地域および法人内からの相談受付が徐々に増加し、令和 8 年度の利用につながる動きも見られた。

児童発達支援 7 件（内、利用見込み 1 件）

放課後等デイサービス 3 件（内、利用見込み 1 件、利用開始 1 件）

相談件数は多くはないものの、法人内保育園を中心に継続的な相談が寄せられており、地域における支援ニーズの把握や次年度の利用増加に向けた基盤づくりにつながっている。

◇ **次年度への対応**

相談受付体制を維持しつつ支援体制の強化と受け入れ環境の整備を進め、より安定した事業運営を図る。

< 以 上 >